

総合支援資金特例貸付（再貸付）申込書（記入例）

フリガナ	材俣 仔叻
氏名	大分 一郎
フリガナ	オオイタシオオツマチ 2-1-41
住所	〒870-0000 大分市大津町 2-1-4 1
	固定 ○○○-×××-△△△△ 携帯 ○○○-××××-△△△△
自立相談支援機関への相談状況 （該当する選択肢を○で囲み、日付を記入）	ア 自立相談支援機関へ相談をしている。 相 談 日：令和____年____月____日 イ 自立相談支援機関へ相談をしていない。 相 談 予 定 日：令和____年____月____日

記入しないで下さい。

大分県社会福祉協議会会長 殿

○私は、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっており、そのため上記の通り総合支援資金特例貸付を借り入れたく申し込みます。

○私及び私の世帯は、緊急小口資金及び総合支援資金の特例の借入が終了しています。

○貸付け後は、早期自立に努めます。

○私は現在、生活保護を受給していません。

○私は現在、自己破産の手続きを行っていません。

○本貸付金を事業の運転資金として使用しません。

○私以外の世帯の者は、本特例貸付の借入を行っていません。

○記入した個人情報については、本制度に必要な範囲で、第三者に提供することに同意します。

○私は、貴社会福祉協議会が、貸付けに必要な範囲で、全国社会福祉協議会、他の都道府県社会福祉協議会、自治体、公共職業安定所、自立相談支援機関、家計相談支援機関等の関係機関に照会し、私の個人情報の提供を受けることに同意します。

○私及び私の世帯の者は、暴力団員ではありません。また、借入期間中においても暴力団員にはなりません。私は、貴社会福祉協議会が必要に応じ官公署等から私又は私の世帯員に係る暴力団員該当制情報の提供を求めることに同意します。

〔暴力団とは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」（平成3年法律第77号）第2条第2号にあるとおり、「その団体の構成員（その団体の構成団体の構成員を含む。）が集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体」を指します。〕

○貸付審査の結果、貸付不承認となった場合、理由は開示されないことに同意します。

令和 3 年 2 月 19 日 借入申込者 大分 一郎